

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

九州歯科大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、最終年度を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、歯科保健医療の高度な専門的知識・技術を教授するとともに、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

平成29年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、口腔保健・健康長寿推進センターにおいて、地域歯科医療関係者に対して、リカレント教育を行うとともに、地域医療関連病院等との連携を拡充し、地域包括型歯科医療連携体制を整備するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成29年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・ 歯科医学教育センター主導で、プロフェッショナリズムの醸成をカリキュラムの中に位置づけ、歯学概論科目や学外宿泊研修、早期登院実習などの初年次教育の充実を図っている。
 - ・ 他職種連携の意識の醸成を目的とした歯学科と口腔保健学科の合同講義などを実施するとともに、医療系大学間共用試験実施評価機構が行う診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験のトライアルを実施するための体制を整備した。
 - ・ I R室で学生データを深く分析し、個別に指導する体制を強化するとともに、歯科医師国家試験分析室を設置し、歯科医師国家試験合格率が全国29大学中5位と高水準

であったことを評価する。

(2) 特色ある大学院教育による優れた教員・研究者の育成

- ・口腔保健学専攻修士課程について、入学定員充足率を充たすとともに、修士課程修了者が歯学専攻博士課程へ進学するなど、人材の育成を進めている。
- ・大学院医歯工連携教育協定に基づき、4大学間で単位互換を実施し、共同教育を推進している。

(3) 教員の教育力の向上

- ・ファカルティ・ディベロップメント部会、一般スタッフ・ディベロップメント部会、医療系スタッフ・ディベロップメント部会を設置し、受講対象者別に効果的な研修を行うとともに、学生及び教員による授業評価を実施するなど、教育活動の改善に努めている。

(4) 適性のある優秀な人材の確保

- ・模擬講義の実施などの高大連携に取り組むとともに、高校訪問、オープンキャンパス、施設見学会等の入試広報活動を積極的に実施し、歯学科、口腔保健学科ともに志願倍率が目標を上回った。

(5) 学生への支援

- ・教職員が一体となって、きめ細かな学生支援を実施するとともに、キャンパスライフ・ガイダンスや保護者説明会等を開催している。
- ・就職支援実施会議により、多彩な就職先を見学する機会を作るとともに、民間企業や総合病院等への就職を開拓し、口腔保健学科において、引き続き就職率100%を達成した。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・「口腔保健・健康長寿推進センター」において、歯科医師等を対象とした摂食嚥下障害や全身疾患がある患者の口腔機能向上に関する実践的教育を実施するとともに、全国各地の関連セミナーで講演を行うなど、リカレント教育の充実を図っている。
- ・海外大学との学術交流や短期留学生の受入れが大きく増加したことや、海外学生短期派遣プログラムを正規の選択科目として実施し、海外の大学に学生を派遣していることを評価する。
- ・幼稚園、老人クラブ等で歯科口腔保健に関する講演や相談を実施し、子育て支援や高齢者の健康増進に資する普及・啓発を行っている。
- ・九州北部豪雨災害に係る募金活動を実施した。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・附属病院に診断科を新設し、患者や学生にとって診断から治療の流れを分かりやすくする診療体制へ改編するとともに、電子カルテシステムの導入により、診療事務の効率化や診療科間の連携化、臨床教育の充実を図っている。
- ・地域医療関連病院等との連携を拡充し、高齢者を中心とした口腔医療を訪問診療で提供するなど、地域包括型歯科医療連携体制を整備したことを評価する。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得に努めている。
- ・歯科診療所に対応困難な患者に対する訪問歯科診療及び訪問口腔衛生指導の実施回数が目標を上回った。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学機関別認証評価の評価結果を踏まえ、自己評価部会の位置づけと活動内容を明確化するとともに、教職連携会議において課題を確認するなど、大学運営の改善に向けた取組を行っている。
- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。